

平成28年度 学校関係者評価書（後期）

南アルプス市立落合小学校

○ 第2回学校関係者評価委員会の経過

1 日時 平成29年1月19日（木） 午後6時00分～7時30分

2 出席者

区長会長	深澤 岸雄	すももの里応援団事務局	萩原智子
P T A会長	篠原 里加子	P T A副会長	望月 巧
学校長	笹本 仁	教頭	新津 友子
教務主任	石川 明子		

3 提案内容

- (1) 学校運営の方針
- (2) 児童の様子
- (3) 学校評価結果を活かした2学期学校運営

4 協議内容

(1) 学校評価全体について

- ・職員、児童、保護者ともに肯定的な回答が多く、総合的に見て良好である。特に、1回目の学校評価により重点課題とした児童アンケート項目「授業中に発言や質問を言うことをしますか。」「宿題の他に家で自主勉強をしますか。」について、大きな成果があったことが2回目の学校評価児童アンケートに表れており、学習の仕方、意欲、児童の成就感などが同時に育まれたのではないかと考えている。
- ・落合小では教職員が課題を共通理解し、学力向上をはじめ、特別支援教育や防犯防災、いじめ等全ての課題に全職員が協働し、教育活動に取り組んでいることがわかる。今回の学校評価でも成果と課題をしっかりとらえ、改善策も具体的に示されている。今後とも保護者や地域と心を合わせ改善を積み重ねながら教育活動を進めていただきたい。

(2) 学習面について

- ・「自学」「チャレンジルーム」「漢字チャレンジ」、学期ごとの算数や国語のチャレンジテスト、家読などについて、改善を加えながらしっかりと継続し、生きる力を支える基礎的な学力が向上しつつあることがわかりました。2学期は特に「宿題の他に家で自主勉強をしますか。」に学校全体で取り組み、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力を育てていくための教育活動を進めているということがわかりました。今後ともこの方針で進めてほしいと思います。
- ・児童アンケート「学校が楽しい」について、肯定的評価が7%減っていた。しかし、「仲良く遊ぶ友達はあるか」「授業はわかるか」「授業中意見や質問を言うか」「自主勉強をするか」については肯定的評価が増えており、学習活動にしっかりと取り組んでいることに関わる「厳しさ」の表れと言えるのではないかと考えました。学習の厳しさが成就感になり「楽しさ」になっていくことが子どもたちの更なる成長につながると思うので、そういう思いを持って教育活動を進めていただきたい。
- ・児童の家庭学習は毎日だが、毎月1週目の1週間は保護者にも協力してもらって、学習習慣やお手伝い、読書、睡眠等、学習しやすい生活習慣づくりまで考えた「家庭学習の取組」をしているということです。家庭全体で取り組むというところに価値があると思います。「習慣」になるまで、取り組んでいただきたいと思います。

- ・「忘れ物ゼロ」の取組について

3学期の指導重点として、学習面と生活面両方の視点から取り組むということですが、良いことだと思います。落合小学校の子どもたちに、今必要な力であり、「忘れ物ゼロ」の心と行動力が備わることで子どもたちはもっともっと伸びると思いました。家庭との協力が大事になると思いますのでよろしくお願いします。

- ・「体力の向上」についても取組を

保健便りや学校保健委員会の報告などを見ると、体力の向上にも力を注がなければならないと感じています。挨拶ができる、むし歯の治癒率をを上げる等も含め、「知・徳・体」すべてにおいて調和のとれた子どもになるようにお願いしたい。

(3) 生活面について

- ・携帯・スマホについて

個人情報保護について、全校児童、全保護者を対象に学習することが必要です。3学期にも高学年児童と保護者を対象に学習会を実施することが決まっており、平成29年度の予定にも全校全保護者対象に入れていただいているということです。今後も、携帯電話やスマホについて危険の無い使い方ができるように、保護者にも子どもにも学習の機会を作ってほしいと思います。

- ・自転車乗車時のヘルメット着用について

ヘルメット着用については、ヘルメットがありながら被っていないという児童がいることが分かっています。ヘルメットの準備をしていただくとともに、すでに着用できる状態にある児童が、必要性をしっかりと把握し、身を守る手立てをとることができるように指導をしていってほしいと思います。

(4) まとめ

- ・学力向上、豊かな生活実感づくり、個人情報の保護や個人が強調されすぎたために薄れていくコミュニケーション能力等々、社会の大きな変化の影響が、子どもたちの育ちの隅々まで浸透しているのではないかということが1回目に話し合われました。自己評価書に示した本校の課題と3学期からの重点目標、改善策にしっかりと取り組むとともに、1回目に出された、豊かな生活実感を育む地域、親子の関わりを創ることができるように学校ができる取組（参観・学習会・総合的な学習・防災等において保護者や地域と関わりながら進める等）を今後も充実させていきたいと考えています。

- ・自転車の乗り方や携帯・スマホについては、学校からも情報を発信するとともに、親がしっかりと子どもと向き合い責任を持って、子どもの安全に配慮できるように今後ともPTA活動として取り組んでいきたい。子どもたちにも、学習する機会をつくり、自分で考え判断できる子どもが育つようにしていきます。

- ・地域の方々の本校を応援したい気持ちに日々感謝しています。本校では、1年生から6年生まで全学年が充実した地域学習、ふるさと学習をしています。それらの学習は、落合小学区の地域の方々、南アルプス市文化財課や社協、すももの里応援団等々の多くの方々の支えによってなっています。この子どもたちがいずれは落合地区を支える大人に育つように全職員で取り組んでいきます。

- ・いじめや不登校の問題については、今後も全職員で子どもたちの様子を把握し、いじめや不登校の無い学校作りに努めるとともに、「こびっとルール」など、児童が自分たちで決めたルールを守りながら自分づくり、落合小づくりに取り組んでいる子どもたちの心にも応えられるように全力を尽くしていきます。